

2022年度

NO.7 (通算 NO29)

2022・4・25

事務局だより

一般社団法人 示現会

事務所 ☎ 03-3824-9128

○ 新支部長挨拶

裏面 ○＜特集＞ 研究会に参加を
ちょっと紹介・北海道他

今年度、3支部の支部長が交代しました。

「支部あつての示現会」というのは私たち事務局のみならず示現会全員の思いでしょうか。支部員の素晴らしい作品を中心に地道な活動が示現会を支えています。今回交代される中村恵吾前和歌山支部長、中村末二前石川県支部長、山田裕彦前岐阜支部長に改めて感謝申し上げます。

新しい支部長紹介 よろしくお願いします

支部長になって
和歌山支部 土井敏弘



私は、初出品から15年、絵が描ける楽しみを感じながら続けてきました。

がまさか、この高齢で支部長を仰せつかること

になるとは考えてもみませんでした。示現会和歌山支部、50年の歴史は継続される必要があると思いました。

ところが、事務のことについては、他人任せで、何事も初めての事ばかりで不安です。お引き受けしたのは、私が「あんな絵を描きたい」と思った先生に言われた言葉があります。

先生は何事も同じだろうが、「昔の手押しポンプ(支部50年の歴史)は一度使わなくなると、次に使おうとした時大変な苦勞が伴う」という事でした。

それともうひとつ。皆様も「事務局だよりNO2の”ちょっと待って”を実感中だと思いますが、今回、私も含め、少しでも長く続けて、若い人へ継ぎたいと思ったからです。

中村恵伍氏には、事務局、支部長と長年お疲れ様でしたが、引き続きご指導お願いします。

現在、和歌山支部は36名で、本展には25名(会員16名、準会員6名、一般3名)の出品となりました。

感動したこと

岐阜支部 内木 健二



山田裕彦支部長のあとを継いで支部長になりました。今後ともよろしくご指導お願い致します。

支部長としての私の課題は、とても難しいことですが、「支部会員の創作意欲向上」、「研修の充実」、「会員数の増加」です。

3月26日(土)午後、岐阜貨物駅に岐阜支部会員全員が集まり、第75回展用の作品を国立新美術館へ向けて発送しました。

作品を積みこむ時、他の会員の完成作品が見られるのですが次々に「うわー、良くなったー！」という歓声が聞こえてきました。他人の作品を見るのは2月末の研究会で佐藤祐治先生に指導していただいて以来です。以前と比べて大きくグレードアップしている絵を見て「どきっとした！」という声も聞こえてきました。確かにどの作品にもエネルギーが満ちていて研究会後ひたすら集中して描きこんできたことが誰の目にもはっきりとわかりました。絵画制作とは本来そういうものだと思いますがその結果が人の心を打つのはごく当たり前のことでしょう。

研究会の日に90歳を超えた女性会員の方がまるで10代の少女のように目を輝かせて「このごろ描くのが楽しくてしょうがないの」と言われました。90歳を超えてなお制作意欲が衰えないのは、我々が手本とすべき姿勢ではないでしょうか？

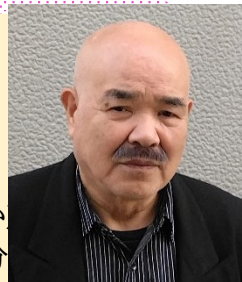
示現会には15の支部があります。

其々の支部は4月の本展の作品を中心に巡回展の開催、支部公募展、作品研究会、写生会、懇親会など支部独自の活動を行っています。

コロナ禍の状況が続く、支部のいろいろな行事が制限される中ではありますが、地方美術の中心として活動しています。

今年度に入り3支部の支部長が交代しました。新支部長の紹介をします。

石川県支部 松本隆



前支部長の中村さんから示現会に誘われて20年くらいになりますが、まさか自分が支部長の立場になるとは思いもよらずいささか惑っております。口下手でもあり、まだまだ自分に対する課題も多く、絵を描く力も足りない

ですが、こうなった以上は精一杯やるしかないと覚悟を決めています。まだまだ不安な気持ちです。石川県は海、山、湖など素晴らしい自然に恵まれた素敵な所です。現在支部会員数は23名です、一番多かった頃の六割くらいまで減っておりますが、幸い副支部長を筆頭に優秀な役員の方たちがたくさんいらっしゃって非常に助けられております。また世界には戦争、虐殺など様々な不幸な事象が飛び交う中、この日本でノンビリと絵を描いて居られる身を感じつつ頑張って参ります。よろしくお願いします。

巡回展の予定

兵庫展 4月27日(水)～5月1日(日)

＜兵庫県民会館＞

岐阜展 5月3日(火)～5月8日(日)

＜岐阜県美術館＞

福岡展 5月10日(火)～5月15日(日)

＜福岡市美術館＞

熊本展 5月17日(火)～5月22日(日)

＜熊本県立美術館分館＞

北九州展 5月24日(火)～5月29日(日)

＜北九州市立美術館 黒崎市民ギャラリー＞

和歌山展 6月1日(水)～6月6日(月)

＜和歌山県民文化会館＞

巡回展では、公募展も併せて開催しているところがあります。ぜひおでかけください

特集1

研究会について

今年中に6月5日、7月17日 9月11日
10月2日の4回計画されています。
6月はリモートになりますが、以降の研
究会についてはコロナの状況をみて
方法をお知らせします。



6月の作品研究会

6月5日(日)実施日(リモート で行います)
写真締め切り **5月30日(月)**
日展に出品予定の方は構図などから指導が受け
られます。ぜひ参加ください。
奨励展に参加される方も歓迎いたします。

研究会にはどなたでも参加できます。
示現会に出品していなくても参加できます。
6月は日展出品予定者、及び奨励展出品者を中心に実施い
たしますが、次年度の示現会出品作、その他現在進行中の
個人的な作品なども歓迎します。
指導は理事長始め常務理事の先生方が行います。
指導内容は写真をA4に印刷し、それに記入、送り返します。

リモート研究会・参加の方法

写真の
準備

・L版また
は葉書サイ
ズの大きさに紙焼きを
する

写真の
裏面

・題名
・号数
氏名・住所・
電話番号
書いておく

同封
する物

○ 自分の住所氏名を書いて140円
切手を貼った返信用封筒
○ 特に聞きたいことがあれば書く
できるだけ簡潔に
* USBメモリーが同封されている
場合も同じ

送付先

221-0843 横浜市神奈川区
松が丘 77-14
中西 敦宛

写真をデータ化して送る場合
USB メモリーを使用(8GB 以上)
*メモリーに自分の名前を記載 *画像にも自分の名前

写真データ
JPG ファイル
サイズ 5MB 以上が良い

送付先
上記の担当者宛

紙写真で送られてきた方にもUSBメモリーが同封の場合はその中に研究会
での指導の映像・音声データを入れて送り返します。

○ 参加費3000円は研究会終了後に指定の口座に振り込んでいただきます。口座番号などの案内は、研究会の内容
と一緒にお知らせします。

特集2 ちよっと紹介

初夏のよい季節になりました。
写生のシーズンです。
早速、石川支部から写生会実施の
様子が届きました。

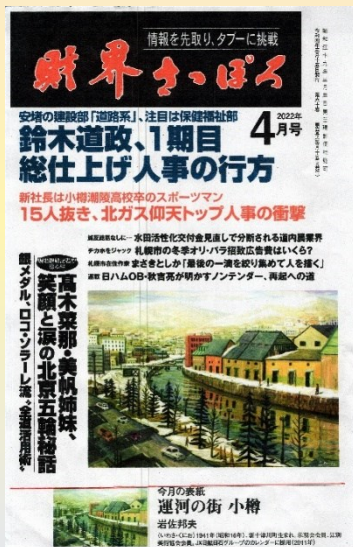


石川県支部行事である写生会の報告をしま
す。
4月10日(日)白山を望む手取川河口におい
て、昨年の倍近い9名の参加者で、油、パス
テル、水彩と各々が筆を走らせました。天
気が良く、白山もうつすら見え、満開の桜がわたく
し達を迎えてくれた絶好の写生日和であり
ました。

石川県支部長 松本隆

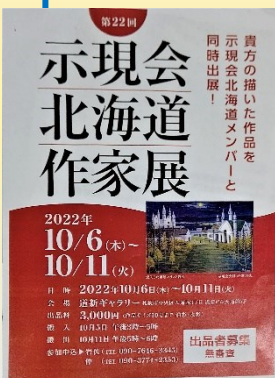


北海道から



北海道の会員「岩佐邦夫」さんから雑誌の表紙を飾
ったとの連絡をいただきました。
示現会展に出品した「小樽運河」を描いた作品です。
この作品はJX日鉱日石グループのカレンダーにも採
用されていました。

北海道は、常時15名前後が示現会に出品していまし
たが、現在は一般3名を含め12
名。地域が広いこともあり、まと
った活動は難しいところがありま
す。
そんな中、北海道の示現会を盛り
上げようと、この10月北海道示現
会を開催し、公募展も同時に行う
ことになり、計画を進めています。



個性あふれる作品が展示されました！



示現会展ではおなじみの女性作家5人
が銀座でグループ展を開催しました。
阿戸猛子・榎本敬子・瀧井利子・秋吉ヤス
子・波多野雅子さんです。一人一人が個
性あふれる素晴らしい作品でした。

皆さんからのお便りを待っています・メール先 佐藤祐治宛 1941sato@gmail.com